

「核構造の真の理解に向けて – テンソル力と高運動量成分 – 戦略会議」

プログラム案

日時：2010年11月25-26日

場所：核物理研究センター 4F 講義室

11月25日(木)

13:30-

(座長：上坂)

はじめに

明孝之

Tensor correlation in light nuclei studied with tensor optimized shell model

谷畑勇夫

TBA(高運動量成分で引き出すテンソル力に関して)

(休憩 20分)

(座長：土岐)

小川洋子

パイ中間子交換力を陽に取り入れた原子核多体理論の構築

民井淳

1+状態の励起強度、基底状態の p-n テンソル力相関、巨大共鳴の微細構造

矢向謙太郎

TBA(疑問など)

上坂友洋

高運動量移行を伴う少数核子反応におけるテンソル力効果

18:00 - 懇親会 (RCNP 本館 4F 談話室)

(昼食) 12:00 - 13:30

11月26日(金)

9:00- (座長：川畑)

鈴木俊夫

テンソル力とシェル進化

王恵仁

TBA((p,d)実験について)

(休憩 20分)

(座長：肥山)

中田仁

低エネルギーに現れるテンソル力

関口仁子

少数核子系の実験から (仮)

-12:20

(昼食)

13:50-(座長：延与)

青山茂義

第一原理核反応計算を用いた **d+d**、**t+p** 弾性散乱のテンソル力による
クラスター構造の崩れの分析

板垣直之

軽い核におけるクラスターとテンソル力、スピン・軌道力との競合

(休憩 20分)

(座長：民井)

議論

とるべきデータについて。問題点と課題の整理。実験と理論の戦略。

17:00 終了